

## 総括

- 令和2年度は、すみだトリフォニーホール及びすみだ北斎美術館の今期指定管理の最終年度であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による臨時休館や施設利用の自粛要請等に伴い、当初の事業計画を延期や中止するなど大幅に変更することとなった。
- コロナ禍における事業の実施にあたっては、東京都や墨田区の指示、関連業界のガイドラインを遵守し、入場人員の制限、検温、消毒、マスクの着用など、徹底した感染防止対策を行った。  
また、職員及びスタッフについても在宅勤務を積極的に取り入れるなど、徹底した感染防止対策を講じ、事業所内での感染者の発生を食い止めることができた。
- 財務状況についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、施設利用の取消しに伴う利用料金収入の減収、入場者・観覧者の減少による入場料収入の減収など、大きな影響を受けたが、新型コロナウイルス関連の助成金や補助金等を獲得することができ、損害を最小限にとどめることができた。

### すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主催公演においては、可能な限り公演を中止せず、開催時期の変更、海外からの出演者を国内アーティストへ変更するなどして実施した。また、区民を対象とした新たな体験型事業として、ホールの財産であるパイプオルガンを活用した「パイプオルガン演奏体験&オルガン・レクチャー付きバックステージ・ツアー」を実施した。  
なお、貸館公演については年間を通して中止が相次ぎ、公演数は例年の半分、入場者については、4分の1程度にとどまった。
- 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言に伴う臨時休館中に、フランチャイズオーケストラの新日本フィルと感染防止対策を講じた演奏実験を行うなど、フランチャイズの優位性を活かし、宣言解除後は、他のオーケストラに先駆けて、協働して徹底した感染防止対策を行い可能な限り公演を実施した。
- コロナ禍での新たな取組みによる区民来場者の増加  
「松之丞改め六代目 神田伯山独演会@すみだ」、「綾小路きみまろ爆笑ライブ&新日本フィル」、「パイプオルガン演奏体験&オルガン・レクチャー付きバックステージ・ツアー」など、新たな親しみやすい内容の企画により、コロナ禍でありながら多くの区民の来場があった。
- また、年会費無料で公演情報のオンライン配信、チケット先行・割引販売等の特典が受けられる「トリフォニーホール・チケットメンバーズ」の新規加入者数における墨田区民の加入者数が例年の約2倍に増え、全体における墨田区民の割合が飛躍的に伸びた。
- 新日本フィルのメンバーによるアウトリーチ事業の「コミュニティー・コンサート」、「ふれあいコンサート」、「区立小中学校音楽指導事業」は、感染防止に留意し、例年と同様に実施することができた。

- 一方、「トリフォニーホール・ジュニアオーケストラ」、「すみだ区民音楽祭」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、ほぼ活動及び開催ができなかった。
- 施設利用においては、新型コロナウイルスによる臨時休館及び利用自粛などの影響により、大ホール、小ホール、練習室ともに利用率は大幅に低下したが、感染防止対策を徹底し、より一層安心・安全なホール運営を実現した。

### すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

- 企画展示は、新型コロナウイルス感染防止対策による臨時休館により大幅に計画を変更した。  
「THE 北斎」展及び「しりあがりサン・北斎サン」展を令和3年度に延期し、その代替として新たに企画した「新収蔵品展」を開催し、企画展示の年間実施回数を計画の5回から4回とした。  
「大江戸歳事記」展では、年中行事に焦点を当て北斎や門人たちが描いた当時の風俗を紹介し、150年以上前の江戸における先人の一年の生活を身近に感じられ楽しめる展覧会とした。  
「新収蔵品展」は平成28年の開館以降に新たに収集した肉筆画、版画、版本の中から当館学芸員が選んだ50点の作品を展示し、収集の成果の一端を紹介した。  
「GIGA・MANGA」展においては時代に即しながら発展してきた漫画的表現の変遷を紹介した。本展は毎日新聞社企画の巡回展を本館で開催したものであり、今後の企画展計画の考察に大いに参考となるものであった。  
「筆魂 線の引力・色の魔力」展では、開館以来計画してきた国指定文化財の展示を実施することができた。浮世絵の先駆とされる岩佐又兵衛をはじめ、浮世絵の始祖である菱川師宣、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川国芳などの60人に及ぶ浮世絵師の初公開作品約40点を含む肉筆画約125点を展覧した。また、コロナ禍において、オンラインによるギャラリートークを実施するなど、今後の企画展示に向けた新たな取組みを行った。
- 「常設展プラス」については、4階企画展示室を使用しない期間にオリジナル作品等を観覧できる環境を整え、昨年度と同様に実施した。
- 教育普及事業では、新型コロナウイルス感染防止のため積極的な実施は控えたが、区内学校への出前授業は徹底した感染防止対策を講じて実施した。  
また、コロナ禍において、企画展に関連したワークショップやホワイエでの高精細複製画展示を実施し、今後の事業へも反映させていくこととした。
- 他館との交流では、ポーランドの「日本美術・技術博物館(通称:マンガ館)」の企画展「クラフクドラゴンとドラゴン」展を4階ホワイエで開催し、WEBでワークショップ等を実施した。
- 令和2年度の観覧者数は、4万5,324人となり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、対前年度比マイナス71.3%であった。  
なお、開館からの観覧者数の累計は、令和2年度末で81万9,633人である。

## 墨田区域における文化芸術活動の支援事業

- 「すみだ文化芸術活動助成事業」については、区内で活動する文化芸術団体 13 件の申請のうち、選考会において9件を採択したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、3件の事業が申請を取り下げ中止となった。
- 「すみだ文化芸術情報サイトの運営」では、区内で活動する文化芸術団体等の活動情報を発信し、区民等による文化芸術活動の活性化を促進するとともに、新たに新型コロナウイルスに関連する感染拡大予防ガイドラインや支援情報等を発信した。
- 「文化政策及び文化事業に関する調査」においては、区内で文化芸術活動に関わる個人及び団体等に新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査を実施し、その結果をプレス発表し、「すみだ文化芸術情報サイト」での情報配信等につなげた。
- 「アートプロジェクト等の推進事業」では、「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会事務局を引き続き担い、コロナ禍で行われる北斎、隅田川をテーマとした多彩な表現活動に対する補助金の交付やサポートを行うとともに、実行委員会主催事業に協力した。

# I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

## 1. 新型コロナウイルス感染症拡大による音楽事業への影響

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、当初の事業計画の変更を余儀なくされた一年であった。令和2年4月8日から6月21日までの期間、トリフォニーホールは臨時休館となり、フランチャイズ・オーケストラの新日本フィルも2月29日から7月1日まで活動休止に追い込まれた。貸館公演数は例年の半数、入場者においては4分の1程度にとどまった。

しかしながら緊急事態宣言に伴う休館中の6月9日には専門医の立会いのもと、新日本フィルとともに感染防止対策を講じた演奏実験を行うなど、再始動に向けていち早く取組みを開始した。その実験結果をもとに、7月10日には再開後初のオーケストラの演奏会となる「新日本フィル・トリフォニー・シリーズ定期演奏会」を開催した。その後、緊急事態宣言が解除されても他の在京オーケストラ団体が活動を休止する中、トリフォニーホールと新日本フィルはフランチャイズの有利性を活かし協働して感染防止対策を徹底した数々の公演を実施することができた。

## 2. 感染防止のための対応

ホール再開にあたり、東京都および墨田区からの指示、並びに関連業界のガイドラインを遵守し、客席数の制限、ソーシャル・ディスタンスの確保、マスク着用、消毒の徹底など以下のような感染防止体制で臨んだ。

- 【客席】 収容人数50%以下等の制限時においては、最大900名の定員とし、公演形態や演目内容に応じて最前列付近を空席とした上で前後左右の間隔を開けた、いわゆる市松模様の配席とした。
- 【来場客】 来場客全員のマスク着用の徹底、検温、手指消毒を行い、クローク業務並びに物品販売の中止、冷水器の使用、バーコーナーの営業を停止した。またベンチやゴミ箱も撤去し感染防止を講じた。
- 【出演者及び利用者】 入館時の検温、手指消毒、楽屋利用人数の制限及び換気の徹底、本番時以外のマスク着用、バックステージでの密状態の回避に留意した。
- 【施設管理】 各施設や備品の消毒、適切な換気の実施、対面での受付窓口にアクリル板を設置、職員並びにスタッフの体調管理を徹底した。

手指の消毒



市松模様での配席



サーマルカメラでの検温



## 3. 主催公演における感染防止対策を講じた事業の再開

主催公演においては可能な限り公演を中止せず、開催時期の変更、海外出演者を国内アーティストへ変更するなどして実施した。

人気シリーズ企画「平和祈念コンサート」や「下野竜也 音楽の魅力発見プロジェクト」「生オケ・シネマ チャップリン《街の灯》」などの事業を実施し、親しみやすい内容で幅広い観客を迎えた。また令和2年度の事業展開の特徴としては「松之丞改め六代目 神田伯山独

演会@すみだ」、「綾小路きみまろ爆笑ライブ&新日本フィル」など、これまであまり採り上げなかった講談や漫談など、伝統芸能のジャンルでも話芸の分野に着目し企画したこと、またホールの財産であるパイプオルガンを活用し、区民向けの「パイプオルガン演奏体験&オルガン・レクチャー付きバックステージ・ツアー」などの新規事業を提供したことがあげられる。

新日本フィルのメンバーによる「アウトリーチ事業」では感染防止に留意しながら、区立小中学校のほぼ全校での音楽指導事業ならびに区内福祉施設でのふれあいコンサートを実施した。

各施設利用においては、臨時休館および感染防止のための活動自粛などの影響から、大ホール、小ホール、練習室ともに利用率は低下したが、コロナ禍で急激に変化した文化施設の新たな日常「ニューノーマル」への転換を徹底し、感染防止に努めながら一層安心・安全なホール運営を実現した。

#### 4. コロナ禍での新たな取り組みによる区民来場者の増加

前述の「松之丞改め六代目 神田伯山独演会@すみだ」「生オケ・シネマ チャップリン《街の灯》」「パイプオルガン演奏体験&オルガン・レクチャー付きバックステージ・ツアー」には多くの区民が来場した。コロナ禍という予測不能な事態において、芸術文化に感動や希望、癒しを求めた区民が、感染対策が施された安全で身近な施設としてトリフォニーホールの存在意義や、優れた音響で行われる質の高い公演に注目したと言えよう。

#### 5. 令和2年度の主な主催事業

##### (1) 開催時期を延期して実施した公演

- ① 「新日本フィルの生オケ・シネマ vol. 5 チャップリン《街の灯》」

※5月30日→3月17日に延期

- ② 「松之丞改め六代目 神田伯山独演会@すみだ」

※6月1日→11月5日に延期

##### (2) 予定通り確実に実施した公演

- ① 世界の映画名シーンとスポーツの祭典を彩る音楽コンサート（8月10日）

- ② 下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト第7回レクチャー付きコンサート（8月15日2公演実施）

2公演目には「Sound Dream Project（6月10日）」の企画を移行し実施した。

- ③ 綾小路きみまろ爆笑ライブ&新日本フィルハーモニー交響楽団クリスマス・スペシャル～オトナの音楽会～（12月6日）

- ④ すみだ平和祈念コンサート2021「秋山和慶&新日フィルハーモニー交響楽団」（3月10日）

- ⑤ トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・コンサート2020（12月12日）

##### (3) 海外アーティストの来日が不可能となり出演者を変更した公演

- ① 「小菅優&新日本フィルハーモニー交響楽団《生誕250周年オール・ベートーヴェン》」（1月6日）

※ピアニストをエリソ・ヴィルサラゼから小菅優に変更して実施

- ② トリフォニーホール パイプオルガン・バレンタイン・コンサート2021（2月11日）

※オルガニストをトン・コープマンから室住素子に変更して実施

##### (4) 新しい体験型事業の実施

パイプオルガン演奏体験と、オルガン機構や舞台裏を知るバックステージ・ツアーを組み合わせた新規体験型企画

「パイプオルガンを弾いてみよう！」演奏&バックステージ・ツアー

- ・「第1回」墨田区在住在勤在学の大学生以上の一般区民対象（12月10日）

- ・「第2回」墨田区在住在学の小学3年生～高校生対象（3月14日）

# 1 音楽等の鑑賞機会の提供

## (1) 公演事業

すみだトリフォニーホールの大ホールを主な会場として、新日本フィルを活用する公演を実施したほか、国内外で活躍する音楽家を招聘し、ホールイメージの向上を目指す魅力的な公演を主催企画として実施した。加えて、親しみやすい内容で安価な料金設定の公演を例年よりも多く企画し、さらにはほぼすべての主催公演で区民割引を設定し低廉な価格で鑑賞できる機会を提供した。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、開催の延期や内容の変更、十分な感染症対策などを行うことにより、ほとんどの公演を実施することができた。

また、令和2年度はこれまであまり採り上げなかった講談や漫談による公演を実施、音楽を中心としつつ様々なジャンルの鑑賞機会を提供し、音楽を主とした舞台芸術の振興を図った。

### ■ フランチャイズ・オーケストラ活用主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	6月10日(水)	<b>【内容変更】Sound Dream Project～みんなの音楽会～</b> [概要] よく知られている作品を中心に、聴覚障がいのある方に「SOUND HUG」(鑑賞補助機器)を用意するなど、誰もが音楽を楽しめる公演 [出演] 永峰大輔(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団  <b>※新型コロナウイルス感染症の影響により、鑑賞補助機器「SOUND HUG」を使用しての聴覚障害者招待については、「8/15 下野竜也プレゼンツ！」公演に移行して実施</b>	—
2	8月10日(月祝)	<b>世界の映画名シーンとスポーツの祭典を彩る音楽コンサート</b> [概要] 映画名シーンの特別編集映像とともに、3世代にわたって気軽に楽しめる映画音楽のコンサート。 [出演] 竹本泰蔵(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] 「パンピ」、「カサブランカ」ほか映画音楽	419人 /900人
3	8月15日(土)	<b>下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト 第7回 レクチャー付きコンサート</b> [概要] シリーズ企画の第7回。区民を中心とした低料金のオーケストラ鑑賞音楽機会を提供。好評のレクチャー付きコンサートとして実施。 [出演] 下野竜也(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] ベートーヴェン：交響曲全9曲の各第1楽章についてのレクチャーと演奏を、1～5番、6番～9番と2回に分けて実施	第1回 536人 /900人 第2回 448人 /900人
4	12月6日(日)	<b>綾小路きみまろ爆笑ライブ&amp;新日本フィルハーモニー交響楽団 クリスマス・スペシャル～オトナの音楽会～</b> [概要] 前半/漫談、後半/コンサートという構成とし、人気漫談家と新日本フィルとのコラボレーションにより新たな聴衆を開拓するコンサートとして実施。 [出演] 綾小路きみまろ(漫談)、角田鋼亮(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] アンダーソン：クリスマス・フェスティバル、グローフェ：《ミシシッピー》組曲ほか	747人 /900人
5	1月6日(水)	<b>小菅優&amp;新日本フィルハーモニー交響楽団《生誕 250周年 オール・ベートーヴェン》</b> [概要] 新日本フィルとの共演により、コンチェルト2曲を披露するプログラムでベートーヴェン作品とソリストの魅力に迫った。 [出演] 小菅優(ピアノ)、角田鋼亮(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] ベートーヴェン：エグモント序曲、ピアノ協奏曲第1番、第5番《皇帝》  <b>※新型コロナウイルスの影響により、当初予定の 11/7「エリソ・ヴィルサラーゼ&amp;新日本フィルハーモニー交響楽団」から日程・出演者を変更し実施</b>	661人 /900人

6	3月10日(水)	<b>すみだ平和祈念コンサート 2021</b> <b>「秋山和慶&amp;新日フィルハーモニー交響楽団」</b> [概要] 人気俳優の石丸幹二を朗読に迎え、復興にも通ずる不屈の精神をテーマとした朗読とオーケストラによる平和祈念コンサート [出演] 秋山和慶(指揮)、石丸幹二(朗読)、櫻井愛子(ソプラノ)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] ベートーヴェン:交響曲第2番、ゲーテの悲劇《エグモント》への音楽  <b>※新型コロナウイルスの影響により、指揮者、朗読者を変更して実施</b>	541人 /900人
7	3月17日(水)	<b>新日本フィルの生オケ・シネマ vol.5 チャップリン《街の灯》</b> [概要] チャップリン・シリーズ第5弾。コンサートホールとして生音にこだわったシネマ・コンサートとして実施。 [出演] 竹本泰蔵(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] 映画:チャップリン《街の灯》  <b>※新型コロナウイルスの影響により、2020年5月30日から延期および指揮者を変更して実施</b>	739人 /900人

## ■大ホール等における自主企画公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	11月5日(木)	<b>松之丞改め六代目 神田伯山独演会@すみだ</b> [概要] 人気、実力ともに兼ね備えた講談師による日本伝統芸能の話芸。多彩なジャンルの舞台芸術鑑賞機会を提供することを目的として実施。 [出演] 六代目 神田伯山(講談) [演目] 扇の的、東玉と伯圓、中村仲蔵  <b>※新型コロナウイルスの影響により、日程を6月1日から延期して実施した</b>	1,141人
2	7月2日(木)	<b>【公演中止】ベルリンフィル・ホルンカルテットの世界</b> [予定] 世界屈指のオーケストラ、ベルリン・フィルが誇るホルンセクションによる四重奏。 [出演] シュテファン・ドール、シュテファン・ドゥ・ルヴァン・イェジエルフスキー、サラ・ウィリス、アンドレイ・ズスト(ホルン)  <b>※新型コロナウイルスの影響により公演中止</b>	—
3	12月12日(土)	<b>トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・コンサート 2020</b> [概要] 安価で短い公演時間の企画。クリスマスにちなんだ作品を中心に実施。 [出演] 長田真実(オルガン)、田添菜穂子(司会) [内容] 【第1回】<0歳からのオルガン・コンサート> チャイコフスキー:くるみ割り人形より、アンダーソン:そりすべり、クリスマス・フェスティバル ほか 【第2回】<じっくりじっくりオルガン・コンサート> アンダーソン:クリスマス・フェスティバル、ヴィエルヌ:オルガン交響曲 第3番より ほか	[第1回] 775人 /900人 [第2回] 771人 /900人
4	2月11日 (木・祝)	<b>トリフォニーホール パイプオルガン・バレンタイン・コンサート 2021</b> [概要] 安価で短い公演時間の企画。バレンタインにちなみ愛を彩る作品を中心に実施。 [出演] 室住素子(オルガン)、操美穂子(ハープ)、田添菜穂子(司会) [演目] エルガー:愛の挨拶、メンケン:美女と野獣メドレー、モノー:愛の讃歌、パッヘルベル:カノン、エロル・ガーナー:ミスティ(ハープソロ)、ギルマン:ヘンデルのテーマ「こうべをあげよ」による行進曲ほか  <b>※新型コロナウイルスの影響により、出演者をトン・コープマンから変更して実施</b>	595人 /900人

財団と新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催により、年4回の時節を捉えたコンサートを開催し、区民をはじめ家族連れなど幅広い層の集客に努めた。また、新日本フィルの定期演奏会等にも共催し、区民割引を適用した良質な音楽鑑賞機会を安価で提供した。

### ■新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	7月23日 (木・祝)	すみだサマーコンサート 2020 [出演] 大友直人(指揮)、外村理紗(ヴァイオリン)、佐藤晴真(チェロ)、亀井聖矢(ピアノ)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] チャイコフスキー: ロココ風の主題による変奏曲、ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調、ヴァイオリン協奏曲 ニ長調  ※新型コロナウイルスの影響により、出演者・公演内容を変更した	546人 /900人
2	7月28日(火)	ファミリーコンサート 2020 宮川彬良×新日本フィルハーモニー交響楽団 オケパン V 「ショウほど素敵な商売はニャー！！」[0歳からのパントマイム★オーケストラ] [出演] 宮川彬良(指揮・ピアノ)、miycawa Ari(演出・振付)、吉岡朋子(出演)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] オー・ソレ・ミオ、雨に唄えば、クラリネット・ポルカ、花祭り、フニクリ・フニクラ、トランペット吹きの日、ラジオ体操、マック・ザ・ナイフ、大脱走マーチ、ショウほど素敵な商売はない ほか  ※新型コロナウイルスの影響により、2020年4月3日から延期し、第1回のみ実施とした	201人 /900人
3	1月3日(日)	ニューイヤー・コンサート 2021 ～一年の計はお正月にあり～ [出演] 中田延亮(指揮)、サミュエル・エリクソン(NJP チェロ奏者)、田添菜穂子(司会)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] ロッシーニ: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍隊の行進」、ポップパー/ハンガリー狂詩曲、J.シュトラウス II: ワルツ「美しく青きドナウ」、外山雄三: 管弦楽のためのラブソング ほか	911人
4	3月20日 (土・祝)	宮川彬良 VS 新日本フィルハーモニー交響楽団 春が来た！アキラさんのテーマパーク特集！ [出演] 宮川彬良(指揮・ピアノ・司会)、ダイナマイトしゃかりきサ〜カス(ヴォーカルグループ)、VOJA-tension(ヴォーカルグループ)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] デイズニー・シンフォニック・メドレー、宮川彬良: ワンマンズ・ドリーム、まわれエルドラド、宮川彬良: パトネージュの歌 2020、ファンタジア・メドレー ほか  ※新型コロナウイルスの影響により中止した 2020年12月31日「超！ジルベスター・コンサート」の延期公演として実施	574人

### ■新日本フィルハーモニー交響楽団との共催公演

ルビー〈アフタヌーン・コンサート・シリーズ〉(名曲シリーズ)			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月10日(金)	ルビー〈アフタヌーン・コンサート・シリーズ〉 第30回 [出演] エド・デ・ワールト(指揮)、エステル・ユー(ヴァイオリン)	—
	4月11日(土)	※新型コロナウイルスの影響により中止	—
2	5月15日(金)	ルビー〈アフタヌーン・コンサート・シリーズ〉 第31回 [出演] 尾高忠明(指揮)	—
	5月16日(土)	※新型コロナウイルスの影響により中止	—
3	7月17日(金)	ルビー〈アフタヌーン・コンサート・シリーズ〉 第32回 [出演] 太田弦(指揮)、田部京子(ピアノ)	466人
	7月18日(土)	※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	580人
4	9月11日(金)	ルビー〈アフタヌーン・コンサート・シリーズ〉 第33回 [出演] 矢崎彦太郎(指揮)、三浦文彰(ヴァイオリン)	487人
	9月12日(土)	※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	533人



5	10月16日(金)	ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> 第34回 [出演] 外山雄三(指揮)、上野耕平(サクソフォン) ※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	593人
	10月17日(土)		754人
6	11月13日(金)	ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> 第35回 [出演] 大友直人(指揮)、木嶋真優(ヴァイオリン) ※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	693人
	11月14日(土)		945人
7	1月15日(金)	ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> 第36回 [出演] 佐渡裕(指揮)、田部京子(ピアノ) ※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	701人
	1月16日(土)		805人
8	2月19日(金)	ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> 第37回 [出演] 大友直人(指揮)、牛田智大(ピアノ) ※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	864人
	2月20日(土)		965人
9	3月26日(金)	ルビー<アフタヌーン・コンサート・シリーズ> 第38回 [出演] 鈴木秀美(指揮)、崔文洙(NJP ソロ・コンサートマスター)、長谷川彰子 (NJP 首席チェロ奏者)、崔仁洙(ピアノ) ※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	794人
	3月27日(土)		960人

トパーズ<トリフォニー・シリーズ> (定期演奏会)			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月17日(金)	第618回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 上岡敏之(指揮)	—
	4月18日(土)	※新型コロナウイルスの影響により中止	—
2	7月10日(金)	第622回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 尾高忠明(指揮)、清水和音(ピアノ)	503人
	7月11日(土)	※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	686人
3	9月18日(金)	第624回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 沼尻竜典(指揮)、實川風(ピアノ)、石丸由佳(オルガン)	588人
	9月19日(土)	※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	717人
4	10月30日(金)	第626回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 秋山和慶(指揮)、上原彩子(ピアノ)	524人
	10月31日(土)	※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	604人
5	11月20日(金)	第627回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 尾高忠明(指揮)、成田達輝(ヴァイオリン)、東条慧(ヴィオラ)	407人
	11月21日(土)	※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	540人
6	2月5日(金)	第630回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 阪哲朗(指揮)、重松希巳江(NJP 首席クラリネット奏者)、河村幹子(NJP 首席ファゴット奏者)	469人
	2月6日(土)		639人

室内楽シリーズ			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月22日(水)	室内楽シリーズ XVI 第132回 ※新型コロナウイルスの影響により中止	—
2	5月13日(水)	室内楽シリーズ XV 第133回 ※新型コロナウイルスの影響により中止	—
3	7月8日(水)	室内楽シリーズ XV 第134回 ※新型コロナウイルスの影響により中止	—
4	9月9日(水)	室内楽シリーズ XVI 第135回 「北欧音楽へのご招待！」 Produced by サミュエル・エリクソン(NJP チェロ奏者)	111人
5	10月28日(水)	室内楽シリーズ XVI 第136回 「拝啓、ベートーヴェン様…」 Produced by 佐久間大作(NJP ファゴット奏者)	146人
6	11月11日(水)	室内楽シリーズ XVI 第137回 「High & Low」 Produced by 城満太郎(NJP コントラバス奏者)	108人
7	1月13日(水)	室内楽シリーズ XVI 第138回 「Les femmes fatales ～運命の女たち～」 Produced by 佐々木絵理子(NJP 第2 ヴァイオリン・フォアシューパー)	132人

8	2月17日(水)	室内楽シリーズ XVI 第139回 ウィーンへの思慕 ～愛、憧れ、耽美～ Produced by 菅沼希望(NJP 首席コントラバス奏者)	147人
---	----------	--	------

その他		
実施日	事業内容	入場者数
12月20日(日)	「第九」特別演奏会 2020 [出演] 広上淳一(指揮)、小林沙羅(ソプラノ)、林美智子(アルト)、西村悟(テノール)、加来徹(バリトン)、二期会合唱団(合唱)、糸原裕介(合唱指揮)	1,366人

大小ホールの特性を活かす多彩な公演を共催として招致することで公演事業の充実を図ったが、群馬交響楽団を除き、公演は中止となった。

また、区内で活動する音楽団体が中心となって例年開催している「すみだストリートジャズフェスティバル」に共同主催として会場を提供していたが、今年度は開催が中止された。

### ■共同主催公演

第11回すみだストリートジャズフェスティバル ※新型コロナウイルスの影響により中止
--

### ■その他共催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	5月11日(月)	【公演中止】ジョバンニ・ソツリマ特別公演 [出演] ジョバンニ・ソツリマ(チェロ)ほか ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
2	5月23日(土)	【公演延期】エリーナ・ガランチャ スペシャルリサイタル [出演] エリーナ・ガランチャ(ソプラノ) ほか ※新型コロナウイルスの影響により、令和4年度へ公演延期	—
3	5月28日(木)	【公演延期】エリーナ・ガランチャ スペシャルリサイタル [出演] エリーナ・ガランチャ(ソプラノ) ほか ※新型コロナウイルスの影響により、令和4年度へ公演延期	—
4	9月24日(木)	【公演中止】新イタリア合奏団&村治佳織 [出演] 新イタリア合奏団、村治佳織(ギター) ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
5	11月3日 (火・祝)	【公演中止】ラ・プティット・バンドのマイ受難曲 [出演] ラ・プティット・バンド ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
6	12月5日(土)	【公演中止】ケルティック・クリスマス 2020 [出演] アヌーナ、ザ・ハイキングス、デヴィット・ギーニー ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
7	12月12日(土)	【公演中止】ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2020 [出演] リチャード・カーシー(指揮)、THE ORCHESTRA JAPAN(管弦楽)、ささきフランチェスコ(ナビゲーター)ほか ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
8	12月24日(木)	【公演中止】クリスマス☆ゴスペル 2020～グローリー・ゴスペル・シンガーズ～ [出演] グローリー・ゴスペル・シンガーズ ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
9	2月28日(日)	群馬交響楽団 東京公演 [出演] 大友直人(指揮)、古海行子(ピアノ)、群馬交響楽団	476人

## (2) アウトリーチ事業

新日本フィルハーモニー交響楽団のオーケストラ演奏を地域に届ける「コミュニティ・コンサート」、楽団メンバーによる区立小中学校での音楽指導、福祉施設等での「ふれあいコンサート」など、アウトリーチ活動を実施した。新型コロナウイルスの影響下でも、学校や施設側との丁寧な打ち合わせと協力により、実施会場に合わせた感染症対策を施すことができ、例年と変わらない回数を実現した。

### ■ コミュニティ・コンサート

実施日	会場	内容	入場者数
10月11日(日)	寺島中学校	[出演] 松本 宗利音(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団、腰野真那(新日本フィル パーカッション奏者) [演目] ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」より第4楽章 抜粋、榊原栄:キッチン・コンチェルト、スメタナ:交響詩《ブルタバ(モルダウ)》他	268人

### ■ 音楽指導事業

回	実施日	会場	指導内容	指導者数	生徒数
1	7月13日(月)	寺島中学校	ヴァイオリン、ピアノ	2人	152人
2	9月3日(木)	文花中学校	フルート、ファゴット、ピアノ	3人	71人
3	9月16日(水)	第三吾嬬小学校	ホルン、チェロ、ピアノ	3人	100人
4	9月18日(金)	隅田小学校	弦楽四重奏	4人	82人
5	10月22日(木)	第二寺島小学校	クラリネット、ファゴット、ピアノ	3人	201人
6	10月23日(金)	両国小学校	フルート、クラリネット、ファゴット	3人	128人
7	10月27日(火)	第四吾嬬小学校	打楽器三重奏	3人	54人
8	11月17日(火)	梅若小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	118人
9	11月25日(水)	錦糸小学校	ヴァイオリン2、ヴィオラ、コントラバス	4人	53人
10	11月26日(木)	業平小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2人	77人
11	11月27日(金)	立花吾嬬の森小学校	弦楽四重奏	4人	79人
12	12月1日(火)	墨田中学校	弦楽四重奏	4人	181人
13	12月3日(木)	文花中学校(夜間学級)	弦楽五重奏	5人	47人
14	12月4日(金)	柳島小学校	フルート、ヴィオラ、ピアノ	3人	169人
15	12月7日(月)	中川小学校	チューバ、ピアノ	2人	49人
16	12月8日(火)	本所中学校	弦楽四重奏	4人	136人
17	12月9日(水)	東吾嬬小学校	ホルン、チェロ、ピアノ	3人	118人
18	12月14日(月)	吾嬬第二中学校	ヴァイオリン2	2人	148人
19	12月14日(月)	第一寺島小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノ	3人	123人
20	12月15日(火)	曳舟小学校	トランペット、ピアノ	2人	151人
21	12月17日(木)	二葉小学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3人	204人
22	12月21日(月)	押上小学校	打楽器2、ピアノ	3人	84人
23	12月21日(月)	中和小学校	弦楽四重奏	4人	58人
24	12月22日(火)	八広小学校	弦楽四重奏	4人	182人
25	12月24日(木)	緑小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノ	4人	166人
26	1月27日(水)	言問小学校	クラリネット、ピアノ	2人	85人
27	1月28日(木)	横川小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2人	145人
28	2月2日(火)	外手小学校	ヴァイオリン、コントラバス	2人	149人
29	2月4日(木)	第三寺島小学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3人	103人
30	2月9日(火)	吾嬬立花中学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	156人
31	2月12日(金)	小梅小学校	弦楽四重奏	4人	60人
32	3月8日(月)	桜堤中学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	172人

33	3月9日(火)	両国中学校	ヴァイオリン、コントラバス	2人	233人
34	3月12日(金)	堅川中学校	トランペット2、トロンボーン2	4人	206人
35	3月23日(火)	錦糸中学校	ヴァイオリン、ハーブ	2人	92人
36	1月14日(木)	菊川小学校	※新型コロナウイルスの影響により中止	—	—
合計				107人	4,332人

## ■ふれあいコンサート

回	実施日	会場	内 容	出演者数	観客数
1	9月4日(金)	亀沢のぞみの家	打楽器、ヴァイオリン、ピアノ	3人	36人
2	9月26日(土)	墨田こどもの家/あゆみの家	弦楽四重奏	4人	32人
3	9月30日(水)	カラフル・コネクターズ	打楽器、ヴァイオリン、コントラバス	3人	17人
4	10月9日(金)	とらいあんぐる隅田作業所	ヴァイオリン2	2人	8人
5	10月17日(土)	すみだ福祉保健センター	ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノ	3人	24人
6	10月26日(月)	うめわか高齢者在宅サービスセンター	打楽器、ヴァイオリン、チェロ	3人	61人
7	12月3日(木)	すみだステップハウスおおぞらひだまり	弦楽四重奏	4人	23人
8	12月24日(木)	墨田区役所リバーサイドホール	弦楽五重奏	5人	86人
9	12月25日(金)	喜樂里すみだ工房	ヴァイオリン2	2人	43人
10	12月28日(月)	墨田さんさんプラザ	弦楽四重奏	4人	64人
11	1月21日(木)	すみだふれあいセンター	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	62人
12	※1月24日(日)	すみだトリフォニーホール小ホール1回目	打楽器、弦楽五重奏	6人	90人
13	1月24日(日)	すみだトリフォニーホール小ホール2回目	打楽器、弦楽五重奏	6人	50人
14	2月6日(土)	さくら橋コミュニティセンター	ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ	3人	50人
15	2月10日(水)	梅若橋コミュニティ会館	弦楽四重奏	4人	72人
16	2月20日(土)	すみだトリフォニーホール小ホール1回目	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノ	4人	131人
17	2月20日(土)	すみだトリフォニーホール小ホール2回目	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノ	4人	110人
18	3月10日(水)	墨田区役所リバーサイドホール	金管五重奏	5人	200人
19	3月24日(水)	すみだ花工房	弦楽四重奏	4人	18人
20	3月30日(火)	興望館	弦楽四重奏	4人	199人
合計				76人	1,376人

※参加者のアンケートより:

「素晴らしい内容でした！1歳になる娘は1時間ずっと楽しそうにしていました。何より父・母が感動しています。コロナ禍で演奏を聞く機会が激減する中、貴重な機会をいただき、本当にありがとうございます。墨田区に住んでいてよかったです！」

(3) その他、パイプオルガン及びホールに親しむ機会の提供  
音楽をより身近に感じてもらう機会を設け、来場者の拡大を図った。

■オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー

実施日	事業内容	参加者数
10月1日(木)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー 対象:未就学児	[第1回] 41人
		[第2回] 44人
1月8日(金)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー 対象:[第1回]車椅子ご利用の方 [第2回]視覚に障がいのある方	[第1回] 18組 36人
		[第2回] 5組 10人
2月26日(金)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー 対象:一般	[第1回] 21人
		[第2回] 23人

■区民向けオルガン体験会、オルガン・レクチャー&バックステージ・ツアー

「ホールの財産であるオルガンを区民のもっと身近に」というコンセプトで、初の試みとして演奏体験会を実施した。

実施日	事業内容	参加者数
12月10日(木)	パイプオルガンを弾いてみよう！ 一般区民向け 第1回&第2回 対象:墨田区在住在勤在学の大学生以上	[第1回] 6人
		[第2回] 5人
3月14日(日)	パイプオルガンを弾いてみよう！ 区の子供向け 第1回&第2回 対象:墨田区在住在学の小学3年生~高校生	[第1回] 17人 (体験者5人、保護者12人)
		[第2回] 25人 (体験者7人、保護者18人)

※参加者(子供)のアンケートより:

「一生に一回しかないような体験をさせていただき、ありがとうございました。片手しか弾けないメロディが、ゴージャスな大音量になり感激しました。」

2 区民等による音楽活動の促進及び育成

音楽による次世代育成やコミュニティ形成に資するべくトリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの持続的な活動を行う予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、止む無く年度内はほぼ活動休止となった。

(1) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの運営

回	実施日	事業内容	会場	入場者数
1	8月22日(土)	【公演中止】赤ちゃんも障がいのある方も未就学児も… みんなみんな、「ようこそ！誰でもコンサート」 [出演] 松尾葉子(音楽監督・指揮・お話) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ ※新型コロナウイルスの影響により中止	トリフォニーホール 大ホール	—
2	10月18日(日)	【大会中止】墨田区障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会 [出演] トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ プラス・アンサンブル(吹奏楽) ※新型コロナウイルスの影響により中止	墨田区 総合体育館	—
3	10月18日(日)	【公演中止】創立15周年・第30回演奏会 [出演] 松尾葉子(音楽監督・指揮) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ ※新型コロナウイルスの影響により中止	トリフォニーホール 大ホール	—
4	3月28日(日)	【公演中止】第31回演奏会 [出演] 松尾葉子(音楽監督・指揮) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ ※新型コロナウイルスの影響により中止	トリフォニーホール 大ホール	—

- ※ 新型コロナウイルスの影響により活動休止が続いていたが、令和3年3月27日に活動を再開。令和2年度は3月27日および28日の2日間のみ練習を実施。
- ※ 令和3年3月28(日)に予定していた「第31回演奏会」公演は中止としたが、この日を令和2年度最後の練習日とし、保護者を対象とした公開練習を実施(指導者:松尾音楽監督、新日本フィル楽団員)。来場者約70名。

## (2) 区民音楽祭「すみだ音楽祭」について

※8/23(日)、29日(土)、30日(日)の開催を検討していたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み開催を見送った。

## 3 公演情報の発信

当ホールの存在感を高めるため、館内や錦糸町駅周辺を中心としたサインやポスターの掲出を行うとともに、公演情報についてはWEB、SNS等を中心に発信した。

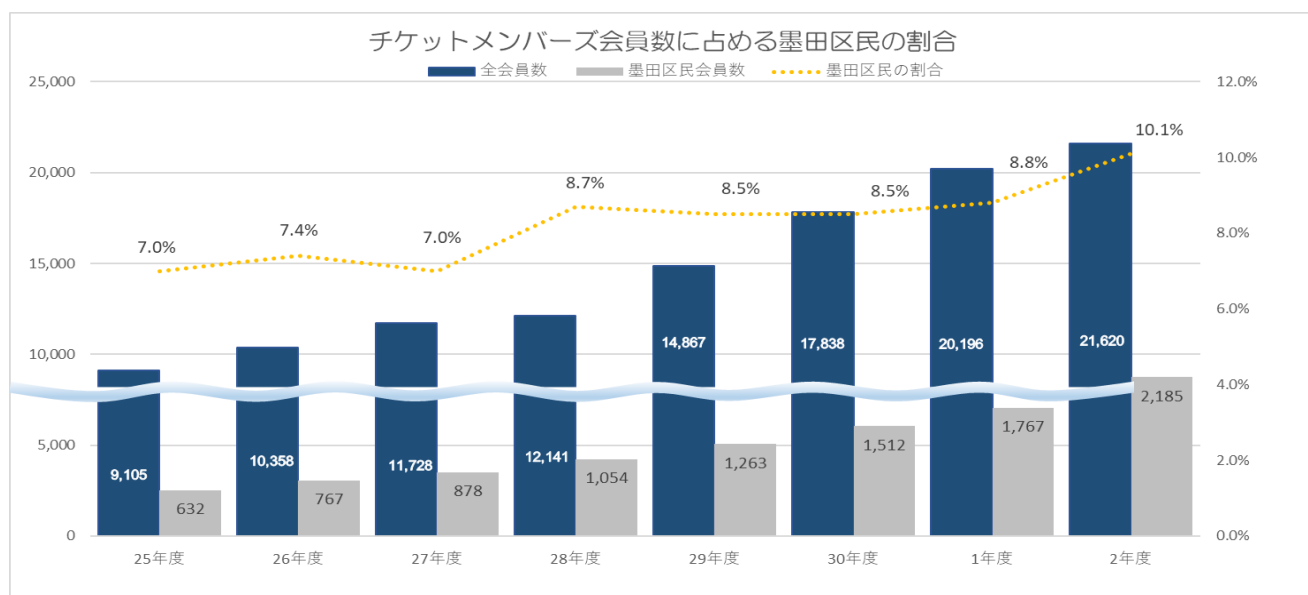
なお、トリフォニーホール友の会については、平成28年度末で廃止し、平成29年度から無料のメールマガジン会員組織であるトリフォニーホール・チケットメンバーズで一本化を図っている。

### (1) 会員組織「トリフォニーホール・チケットメンバーズ」年会費及び特典

年会費は無料で、会員には特典として定期的に公演情報等をメールマガジンで配信、チケット先行予約、チケット割引販売、チケットのオンライン購入、公開リハーサル招待、ホール近隣ホテルのレストラン割引サービスがある。

### (2) トリフォニーホール・チケットメンバーズ会員数に占める墨田区民の割合

新型コロナウイルスの影響で、会員数の増加は例年ほど見られなかったが、その中でも墨田区民の新規加入者が例年の約2倍に増え、区民の会員数に占める割合が飛躍的に伸びた。



### (3) 地域別会員数の推移

年度	会員数割合	合計	墨田区	江東区	葛飾区	江戸川区	その他23区	23区以外都内	千葉県	神奈川県	埼玉県	茨城県	その他の県
2年度	会員数	21,620	2,185	887	374	556	6,109	1,634	3,148	2,462	1,747	383	2,135
	割合	100%	10.1	4.1	1.7	2.6	28.3	7.6	14.6	11.4	8.1	1.8	9.7
1年度	会員数	20,196	1,767	800	349	499	5,687	1,596	3,001	2,373	1,659	371	2,094
	割合	100%	8.8	4.0	1.7	2.5	28.0	7.9	14.9	11.8	8.2	1.8	10.4
30年度	会員数	17,838	1,512	696	310	450	4,972	1,434	2,641	2,146	1,480	335	1,862
	割合	100%	8.5%	3.9%	1.7%	2.5%	27.9%	8.0%	14.8%	12.0%	8.3%	1.9%	10.4%

#### 4 施設の利用及び維持管理に関する業務

※ 新型コロナウイルスの影響による臨時休館中の日数・区分数等は除く。

##### (1) 施設利用実績

大ホール (1,801席)	2年度	元年度	30年度
利用可能日数	234	310	302
利用不可日数	131	56	63
利用日数	183	273	299
本番公演数	83	166	183
新日本フィル	40	42	46
財団	21	24	34
一般	22	100	103
<b>日数利用率</b>	<b>78%</b>	<b>88%</b>	<b>99%</b>
利用可能区分数 (3区分)	651	856	846
利用区分数 (3区分)	410	665	739
新日本フィル	267	308	319
財団	93	135	181
一般	50	222	239
<b>区分利用率</b>	<b>63%</b>	<b>78%</b>	<b>87%</b>

小ホール (252席)	2年度	元年度	30年度
利用可能日数	218	298	298
利用不可日数	147	68	67
利用日数	120	272	293
本番公演数	115	257	280
新日本フィル	6	9	8
財団	4	4	14
一般	105	244	258
<b>日数利用率</b>	<b>55%</b>	<b>91%</b>	<b>98%</b>
利用可能区分数 (3区分)	626	816	820
利用区分数 (3区分)	288	654	726
新日本フィル	26	37	42
財団	5	22	58
一般	257	595	626
<b>区分利用率</b>	<b>46%</b>	<b>80%</b>	<b>89%</b>

練習室 1 (87.2㎡)	2年度	元年度	30年度
利用可能日数	222	300	312
利用不可日数	143	66	54
利用日数	109	251	291
<b>日数利用率</b>	<b>49%</b>	<b>84%</b>	<b>93%</b>
利用可能区分数 (3区分)	421	688	756
利用区分数 (3区分)	150	443	606
<b>区分利用率</b>	<b>36%</b>	<b>64%</b>	<b>80%</b>

練習室 2 (20.7㎡)	2年度	元年度	30年度
利用可能日数	209	302	299
利用不可日数	156	64	66
利用日数	120	283	294
<b>日数利用率</b>	<b>57%</b>	<b>94%</b>	<b>98%</b>
利用可能区分数 (3区分)	368	689	715
利用区分数 (3区分)	157	550	618
<b>区分利用率</b>	<b>43%</b>	<b>80%</b>	<b>86%</b>

練習室 3 (17.7㎡)	2年度	元年度	30年度
利用可能日数	217	301	302
利用不可日数	148	65	65
利用日数	136	286	292
<b>日数利用率</b>	<b>63%</b>	<b>95%</b>	<b>97%</b>
利用可能区分数 (3区分)	334	691	716
利用区分数 (3区分)	147	562	615
<b>区分利用率</b>	<b>44%</b>	<b>81%</b>	<b>86%</b>

##### (2) パイプオルガン利用実績

	2年度	元年度	30年度
本番利用	21回	29回	33回
レジスト及び リハーサル利用	27回	38回	41回
合計	48回	67回	74回

## (3) 公演実施状況 (ジャンル別)

大ホール(1,801 席) ジャンル	2 年度		元年度		30 年度	
	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	72	86.8%	113	68.1%	122	66.6%
オーケストラ	57	68.7%	97	58.4%	103	56.3%
新日本フィル	43	51.8%	44	26.5%	46	25.1%
その他(プロ)	1	1.2%	4	2.4%	5	2.7%
その他(アマ)	13	15.7%	49	29.5%	52	28.5%
室内楽・器楽	2	2.4%	4	2.4%	5	2.7%
ピアノ	0	0.0%	5	3.0%	5	2.7%
オルガン	13	15.7%	7	4.2%	9	4.9%
オペラ・オペレッタ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
声 楽	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
現代音楽	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
合 唱	0	0.0%	17	10.2%	17	9.3%
吹奏楽	0	0.0%	4	2.4%	7	3.9%
ジャズ・ポップス	0	0.0%	8	4.8%	10	5.5%
演 歌	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
音楽教室等発表会	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
コンクール	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
邦楽	1	1.2%	0	2.2%	4	2.2%
演芸	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
その他	8	9.6%	24	14.5%	22	12.0%
合 計	83	100%	166	100%	183	100%
入場者数	39,837		181,663		193,327	
平均入場者数	479		1,094		1,056	

小ホール(252 席) ジャンル	2 年度		元年度		30 年度	
	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	71	61.8%	159	61.8%	148	52.9%
オーケストラ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新日本フィル	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(プロ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(アマ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
室内楽・器楽	44	38.3%	100	38.9%	75	26.8%
ピアノ	17	14.8%	24	9.3%	39	13.9%
オルガン	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
オペラ・オペレッタ	0	0.0%	4	1.6%	3	1.1%
声 楽	10	8.7%	31	12.0%	31	11.1%
現代音楽	1	0.8%	4	1.6%	11	3.9%
合 唱	0	0.0%	13	5.1%	11	3.9%
吹奏楽	0	0.0%	2	0.8%	1	0.3%
ジャズ・ポップス	0	0.0%	4	1.6%	4	1.5%
演 歌	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
音楽教室等発表会	21	18.3%	40	15.6%	54	19.3%
コンクール	11	9.6%	9	3.5%	10	3.5%
邦楽	2	1.7%	10	3.9%	13	4.6%
演芸	1	0.8%	3	1.1%	4	1.5%
その他	8	7.0%	13	5.0%	24	8.6%
合 計	115	100%	257	100%	280	100%
入場者数	8,450		34,271		37,574	
平均入場者数	73		133		134	





## Ⅱ すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

### 1 資料収集・保管事業

区の収集方針に従い、学芸員が専門性を活かしながら積極的に資料を探し出し、作品収集に貢献した。区の求めに応じて候補資料の調査から収集まで全面的に協力を行うとともに、浮世絵及び関連資料を次代へと受け継げるよう適切に収蔵品を管理・保管した。

#### (1) 資料収集

区が収集する資料の候補について、専門的な立場から情報収集及び調査研究を行い、すみだ北斎美術館資料収集委員会及び評価委員会の運営に協力した。

また、新たに収集した資料の撮影及び収蔵データベースへの登録を行った。

本年度も新たに寄託作品を受け入れることとなり、今後の展覧会企画につなげることができた。

#### (2) 資料保管

資料を安全に維持保存するため、館内の環境整備及び資料の修復を行った。

- ・環境整備：虫菌害環境調査及びIPM(防除対策)のコンサルティングを実施し、IPM計画を策定のうえ、館内の環境整備を図った。

資料保管容器を17点制作した。

- ・資料修復：肉筆3点の修復を実施した。

- ・燻 蒸：実施なし。

- ・学術研究等のための資料の撮影又は熟覧：

凸版/富士フィルムによる版画1点、肉筆画2点の撮影

NHK「歴史探偵」による版画3点の撮影

NHKエンタープライズによる版画11点の撮影

- ・資料の貸出状況：

(作品貸出)

- ・毎日新聞社「GIGA・MANGA 展」(巡回展)へ30点の貸出

- ・あべのハルカス美術館「奇才展」へ2点の貸出

(作品借用)

- ・「大江戸歳事記」展のため、個人より1点の借用

- ・「GIGA・MANGA」展のため、京都マンガミュージアムより306点の作品借用

- ・「筆魂展」のため、江戸東京博物館、福井県立美術館、摘水軒記念文化振興財団(千葉市美術館、府中市美術館寄託)、東京藝術大学、大倉集古館、遠山記念館、川崎・砂子の里資料館、大谷美術館、回向院、個人より104点の作品借用

### 2 調査研究事業

北斎を中心にその門人の作品や関連及び交流のあった人物、すみだをはじめとする北斎ゆかりの地との関わりなど、多角的な視点から調査研究を行った。その成果をデータベースに反映させ情報の蓄積や充実を図り、展示事業や刊行物等を通じて一般から専門家まで広く情報を発信することができた。

特に「大江戸歳事記」展では、北斎の生きた江戸時代の年中行事を紹介し、北斎や弟子の作品を通して、江戸文化の紹介に努めた。コロナ禍で展覧会は延期となった「THE 北斎」展に関連し、『THE 北斎一富嶽三十六景 ART BOX』(講談社)の刊行に伴い、作品画像の提供及び解説等を行い、当館の作品の魅力を広く発信した。また、「GIGA・MANGA」展では、監修者の清水勲氏の論説に基づき日本の漫画史のなかで北斎の事績、特に『北斎漫画』における漫画表現を位置づけ、展覧会の開催および図録執筆により、北斎の新たな一側面を紹介することができた。そして「筆魂」展では、監修者の内藤正人氏や研究者たちとともに調査・研究を行い、浮世絵の通史的な変遷と肉筆画の魅力、新発見・再発見の作品の意義を研究成果として、展覧会の開催および書籍の出版を通して発信・普及することができた。

また、美術専門誌『美術の窓』へ「富嶽三十六景」、「筆魂」展で紹介した北斎の新発見作品に関する寄稿、学会誌『浮世絵芸術』への寄稿、BS 日テレ「ぶらぶら美術館・博物館」への専門家枠としての出演、茂木本家美術館所蔵の青富士復刻プロジェクトへの監修協力、墨田区主催の北斎生誕 260 年記念シンポジウム「世界の北斎 すみだにあり」での研究報告発表など、館外でも北斎の業績の紹介に努めた。

### 3 展示事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、令和2年4月7日から5月 31 日までの約2か月間臨時休館を実施したため、企画展計画の変更を行い、経費削減を図るとともに、徹底した感染防止対策を講じ、コロナ禍の状況でも来館者確保に努めた企画展を開催した。

また、講座やイベントなどの関連企画は中止し、教育普及活動も縮小せざるを得ない状況であった。

#### (1) 常設展示の実施

4階の常設展示室では、「すみだと北斎とのつながり」や「北斎の画業と生涯」をテーマとして、北斎の代表的な作品を高精細レプリカにより紹介するとともに、情報端末を活用した資料の展示を行っている。

これら資料の一部展示替えを行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館：令和2年4月7日(火)～5月 31 日(日)

・ 観覧料：一般 400 円、高大生・65 歳以上 300 円

・ 常設展示の観覧者数

(単位：人)

観覧者数	一般	高大生	65 歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	ぐるっとパス	計
常設展示のみ	4,264	498	849	292	522	113	29	43	1,352	7,962
企画展示と同時観覧	21,361	1,951	5,552	228	1,433	1,342	1,266	4,229		37,362
計	25,625	2,449	6,401	520	1,955	1,455	1,295	4,272	1,352	45,324

・ 常設展示のみの観覧料収入

(単位：円)

観覧料収入	一般	高大生	65 歳以上	計
個人	1,671,440	143,220	243,300	2,057,960
前売(個人)	40,000	0	0	40,000
団体	0	0	0	0
計	1,711,440	143,220	243,300	2,097,960

#### (2) 企画展示の実施

企画展計画変更を行い計画されていた2回の企画展を次年度に延期し、開館以来の収蔵品展示の企画展を新たに計画したものを含め年間4回の企画展開催となった。

他館や他社と連携した2回の展示計画はそのまま開催し、コロナ禍の中でも来館者確保につながった。開館以来の目標であった重要文化財展示も無事開催することができた。

また、昨年度に引き続き「常設展プラス」を実施した。さらにポーランド日本美術・技術博物館(通称：マンガ館)との友好協力協定締結一周年記念、開館4周年記念として、11月 14 日から1月 24 日まで日本美術・技術博物館企画展「クラクフ ドラゴンとドラゴン」展を4階展望ラウンジにて開催した。

研究成果の発表や展覧会の記録を目的とするとともに来館者サービスの一環として、図録及びリーフレット等を作成販売した。図録については研究成果を広く社会に広めるため、出版会社に出版を委託し、経費削減と一般向け販売につなげた。

## ■会期、観覧者数等

回	展覧会タイトル	会期	観覧者数	1日平均
			観覧料収入	1日平均
1	北斎師弟対決	4月1日～4月5日 (5日間)	260人	52人
			905,320円	181,064円
2	大江戸歳事記	6月30日～8月30日 (54日間)	6,358人	118人
			5,081,940円	94,110円
3	新収蔵品展 —学芸員が選んだおすすめ50—	9月15日～11月8日 (47日間)	9,265人	197人
			6,743,810円	143,485円
4	GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ	11月25日～1月24日 (49日間)	6,290人	128人
			5,339,620円	108,971円
5	筆魂 線の引力・色の魔力 —又兵衛から北斎・国芳まで—	2月9日～3月31日 (44日間)	11,609人	264人
			9,564,280円	217,370円
6	常設展プラス 隅田川兩岸景色図巻 (複製画)と北斎漫画	4月1日～11月8日 4月7日～5月31日 臨時休館(54日間)	3,580人	25人
			1,982,640円	13,865円
合計		令和2年度 (342日間)	37,362人	109人
			29,617,610円	86,601円

## ■各展覧会の実施概要

### ① 北斎師弟対決！

- ・開催期間：令和2年4月1日(水)から4月5日(日)まで
- ・開催施設：3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、  
中学生・障がい者300円

葛飾北斎 「鎌倉の権五郎景政  
鳥の海弥三郎保則」



#### ・観覧者数(4月1日～4月5日)

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	※招待券	計
個人	116	15	21	1	8	1	20	78	260
団体	0	0	0	0	0	0			
計	116	15	21	1	8	1	20	78	260

#### ・観覧料収入(4月1日～4月5日)

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	110,400	9,100	13,580	300	2,340	135,720
前売(個人)	769,300	0	0	300	0	769,600
団体	0	0	0	0	0	0
計	879,700	9,100	13,580	600	2,340	905,320

## ② 大江戸歳事記

- ・展示概要：現代の私たちは、毎年決まった時期に行われる様々なイベントを通して、一年の生活のリズムを感じとっているが、北斎が生きた江戸時代の人々も同様に年を重ねていた。本展では、そのような年中行事に焦点を当て、北斎や門人たちが描いた当時の風俗を紹介した。
- ・開催期間：令和2年6月30日(火)から8月30日(日)まで
- ・開催施設：3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円



葛飾北斎「朱描鍾馗図」

### ・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	4,104	310	716	62	194	336	227	409	6,358
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	4,104	310	716	62	194	336	227	409	6,358

### ・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	3,964,200	212,520	482,860	18,120	57,660	4,735,360
前売(個人)	339,940	0	6,160	0	480	346,580
団体	0	0	0	0	0	0
計	4,304,140	212,520	489,020	18,120	58,140	5,081,940

## ③ 新収蔵品展 一学芸員が選んだおすすめ50

- ・展示概要：延期された企画展に代わり新たに企画した本展では、平成28年(2016)の当館開館以降に新たに収集した肉筆画、版画、版本の中から当館学芸員が選んだ50点の作品を展示し、開館以来の収集の成果の一端を紹介した。展示作品の多くが初公開であった。
- ・開催期間：令和2年9月15日(火)から11月8日(日)まで
- ・開催施設：3階企画展示室



葛飾北斎「百人一首うはかゑるとき 安倍仲麿」

- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円

・観覧者数

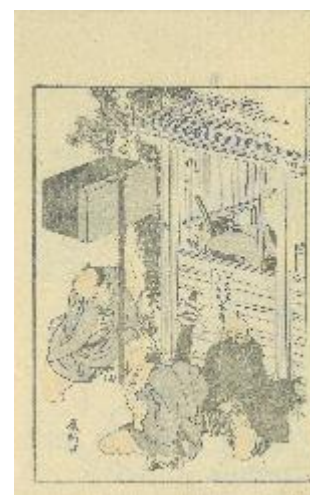
観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	5,230	430	1,353	48	302	318	224	1,360	9,265
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	5,230	430	1,353	48	302	318	224	1,360	9,265

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	5,027,000	293,580	920,360	14,220	89,040	6,344,200
前売(個人)	399,610	0	0	0	0	399,610
団体	0	0	0	0	0	0
計	5,426,610	293,580	920,360	14,220	89,040	6,743,810

④ GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ

- ・展示概要：江戸時代の北斎、国芳、暁斎などの浮世絵版画と、明治以降に台頭した漫画雑誌や漫画本などの近代漫画に着眼し、時代に合わせ姿を変えながら発展してきた漫画的表現の変遷を紹介した。
- ・開催期間：令和2年11月25日(水)から令和3年1月24日(日)まで
- ・開催施設：4階、3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、中学生・障がい者400円



葛飾北斎『北斎漫画』十二編 尿別所

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	3,683	390	614	36	284	256	314	713	6,290
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	3,683	390	614	36	284	256	314	713	6,290

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	4,245,840	338,580	530,640	13,920	111,280	5,240,260
前売(個人)	14,400	84,960	0	0	0	99,360
団体	0	0	0	0	0	0
計	4,260,240	423,540	530,640	13,920	111,280	5,339,620



⑤ 筆魂 線の引力・色の魔力 ―又兵衛から北斎・国芳まで―

・展示概要：浮世絵の先駆とされる岩佐又兵衛をはじめ、浮世絵の始祖である菱川師宣、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川国芳などの60人に及ぶ浮世絵師の肉筆画約125点を展観した。なかには重要文化財、重要美術品、新発見、再発見、初公開作品約40点を含む展覧会とした。



葛飾北斎「鮫鱈図」

・開催期間：令和3年2月9日(火)から  
3月31日(水)まで

・開催施設：4階、3階企画展示室

・観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、中学生・障がい者400円

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	5,769	565	2,442	46	542	315	425	1,505	11,609
団体	0	0	0	0	0	0			
計	5,769	565	2,442	46	542	315	425	1,505	11,609

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	6,745,680	499,320	2,087,280	19,120	212,880	9,564,280
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	6,745,680	499,320	2,087,280	19,120	212,880	9,564,280

⑥ 常設展プラス 隅田川兩岸景色図巻(複製画)と北斎漫画

・開催期間：令和2年4月1日(水)から  
11月8日(日)まで

・臨時休館：令和2年4月7日(火)から  
5月31日(日)まで

・開催施設：4階企画展示室

・観覧料：一般700円、  
高大生・65歳以上600円、  
中学生・障がい者200円



葛飾北斎「隅田川兩岸景色図巻」(部分)

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	2,459	241	406	35	103	116	56	164	3,580
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	2,459	241	406	35	103	116	56	164	3,580

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	1,597,400	133,560	226,080	6,760	18,840	1,982,640
団体	0	0	0	0	0	0
計	1,597,400	133,560	226,080	6,760	18,840	1,982,640

⑦ 開館4周年記念 友好協力協定締結1周年記念 クラクフ ドラゴンとドラゴン

- ・開催期間：令和2年11月14日(土)から令和3年1月24日(日)まで
- ・開催施設：4階展望ラウンジ
- ・観覧料：無料
- ・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	22,611	547	678	27	277	333	300	734	25,507
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	22,611	547	678	27	277	333	300	734	25,507

#### 4 教育普及事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大幅に教育普及活動を制限せざるを得なかった。

学校への出張授業、企画展開催に合わせたホワイエでのワークショップ等については、徹底した感染防止対策を講じながら可能な限り実施した。

##### (1) 館に親しみを持つ層の拡大

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初計画の展覧会に関連した講演やワークショップ等を中止せざるを得なかった。そうした中で、新収蔵品展では YouTube でのギャラリートーク、筆魂展ではオンデマンドを利用した登録制のオンラインギャラリートークを実施し、講座室の収容人数以上の視聴者を獲得、美術館に親しみを持つ層の拡大に努めた。また、従来の講座室での開催ではなく、個々で楽しめるようなワークショップや普及事業を工夫して実施し、作品に親しむ機会を設けることができた。

事業名	事業内容等	実施日	会場(手段)
ギャラリートーク	「新収蔵品展—学芸員が選んだおすすめ50—」 YouTube ギャラリートーク	9/26(土)～	オンライン
		10/3(土)～	
		10/24(土)～	
		10/31(土)～	
	「筆魂 線の引力・色の魔力 —又兵衛から北斎・国芳まで—」後期展示 オンラインギャラリートーク	3/19(金)～ 3/26(金)	オンライン
ワーク ショップ	「北斎パラパラ漫画をつくろう！」 「筆魂展 あなたへのオススメ作品診断」 「筆魂展 絵師タイプ診断」	12/22(火)～ 1/24(日)	オンライン
		2/9(火)～ 4/4(日)	オンライン

##### (2) 児童・生徒及び教育機関に対する取組み

区内外の学校に出向き、北斎の基礎的な情報を得る講座や、北斎を学び体験する授業等、校種や学年に応じた多彩なプログラムを実施した。美術館における学校の団体利用に際しては、コロナ禍のため受け入れができず中止となった。

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
出前授業	「北斎の絵を描こう！」「北斎の作品を鑑賞しよう！」 (墨田区立両国小学校6年生)	9/18(金)	両国小学校	35人
		9/28(月)		36人
	「北斎の絵を描こう！」 (墨田区立柳島小学校3年生)	11/4(水)	柳島小学校	29人
				29人
				28人
「北斎の絵を描こう！」「すみだと北斎！(調べ学習)」 (墨田区立小梅小学校3年生)	11/7(土)	小梅小学校	27人	
			26人	



### (3) 地域との結びつきを深める取組み

例年、地域との結びつきを深めるため参加している「すみだまつり」、「北斎祭り」等のイベントが新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止や規模縮小となったが、「すみゆめ」などのアートプロジェクトについては、徹底した感染症防止対策を講じて講座室を会場として提供することができた。

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
イベント	「北斎祭り」(すみゆめ参加企画)	10/24(土)	講座室	94人
イベント	美術展「現象の色」(区後援)	12/18(金)-12/26(土)	講座室	233人
イベント	KOSUGE1-16 「どんどこ！巨大紙相撲 ～北斎すみゆめ場所」 (すみゆめ主催企画)	1/10(日)	講座室	27人

## 5 図書室運営事業

図書室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年間を通じて休室したが、休室中もレファレンス対応については電話やメールで行った。

また、所蔵書籍のデータ整理等の作業を行った。

## 6 施設の利用及び維持管理に関する業務

講座室の一般貸し出しは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年間を通じて原則中止した。

墨田区及び「すみゆめ」イベント等の利用については、徹底した感染症防止対策を講じて貸し出しを行った。

貴重な北斎作品等資料を保管・展示する美術館として、施設管理、清掃、警備等の業務を優れた実績と経験を有する第三者に委託し、適切に施設管理業務を実施した。

併せて集客施設として、受付・案内業務を接客経験の豊富なスタッフを有する専門業者に委託するとともに、新型コロナウイルス感染症防止対策マニュアル等に準じ、入場制限やマスク着用、検温、消毒を徹底し、館内の感染防止に努めた。

開館後5年が経過しようとする中、空調機等の設備の経年劣化状況を鑑み、今後の設備整備計画について墨田区と協議するなど、美術館の設備の機能維持や安全確保に努めた。

### Ⅲ 墨田区域における文化芸術活動の推進支援事業

地域における文化芸術活動が活発になるよう、区民や文化団体・アーティスト等さまざまな担い手の取組みを把握し、助成制度やアートプロジェクト等の事業を通じて、それぞれの主体的で持続的な活動の展開を促す。墨田区内を中心に行われる多彩な活動を顕在化させ、情報発信や資金支援等を行うほか、文化団体やアーティストが集う機会を設けてネットワーク形成を図り、企画実現のためのコーディネートに努めるなど、中間支援の役割を担っている。

さらに、国や都、近隣区域の文化政策に関する情報を収集し、制度の活用により事業を充実させることで、文化芸術振興に関する専門性の向上と関連機関等との連携に努めた。

#### 1 すみだ文化芸術活動助成事業

区民の文化芸術活動の活性化と促進を図るため、以下の概要で助成事業を実施した。募集段階での申請者からの相談、選考前のヒアリング、助成活動に対する現地視察を行うことで、区内で活動する文化団体の実態の把握と課題の抽出に努めている。

なお、本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、選考会で採択した9件のうち3件が申請事業の取下げ及び中止となった。

##### ■事業概要

- ・申請要件：5人以上で構成される団体で、区民が主体となって活動していること。区内に主たる事務所又は活動拠点を有し、原則として、区内で1年以上の活動実績があること。
- ・対象事業：広く区民等に公開される文化芸術活動で、区の文化振興に寄与する公益性の高い事業であり、原則として区内で行われるものとする。
- ・助成金額：対象経費の合計額の2分の1以内で、100万円を上限とする。
- ・選考方法：外部専門家を含む5名の選考委員により、①団体の資質、②事業の公益性、③事業の芸術性、④事業の計画性・運営面を基準に、書類審査とヒアリングを経て決定
- ・選考結果：採択活動9件(申請13件)、助成予定額 350万円
- ・助成実績：6件、助成総額 2,514,500円

##### ■実施概要

時期	内容
令和2年4月1日(水)	令和2年度交付決定通知
令和2年4月1日(水) ～令和3年3月31日(水)	採択活動の実施、随時視察
令和3年1月4日(月)～29日(金)	令和3年度助成対象活動募集
令和3年2月26日(金)	令和3年度助成対象活動ヒアリング・最終選考会

#### 2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営

墨田区の文化芸術情報の収集・発信を行うため、平成26年度に開設した本サイトは、区内の官民の文化施設及び文化拠点、区内に活動拠点を置くアーティスト・文化団体情報が登録方式で集約されており、登録者が区内で行うイベント情報を掲載できる。平成30年度より、財団が当該事業を担っており、イベント情報の掲載と各種問合せに対応するとともに、文化活動に対する助成金や補助金の情報を掲載している。

本年度は新たに「新型コロナ関連情報」のページを設け、文化施設・文化事業等の感染拡大予防ガイドラインや支援情報をまとめ、都度、最新の情報配信に努めた。また、コロナ禍における文化活動やオンライン活用による先駆的な取組みについて、ヒアリング動画映像を作成し公開した。

- ・ 登録件数 : 154 件(前年度 152 件)
- ・ 総アクセス数 : 2万 9,314 件(前年度1万 9,890 件)
- ・ 総ページビュー : 4万 4,640PV(前年度3万 7,832 件)

### 3 文化政策及び文化事業に関する調査

財団の中間支援機能を高めるために、国や都、他の自治体の文化政策の動向等について継続的に情報収集を行った。併せて、財団が取り組む事業の改善に向けて、財団アドバイザーボードからの意見を聴取した。

#### (1) 文化施策に関する情報収集

東京藝術大学が主催し、文化庁の助成を得て取り組む事業「Meeting アラスミ！—新しい文化政策を考える“フィールドワーク編”」に参加。連続講座に出席するとともに、足立区、墨田区、台東区の文化行政職員や学生等と共に、それぞれの文化政策や文化活動拠点に対するヒアリングを行い、相互に評価するピアレビューを行い、シンポジウムで報告した。

#### (2) 新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査

墨田区で文化芸術活動に関わる個人及び事業所を対象として、7月14日～8月3日に「墨田区における文化芸術関係者の新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査」を実施した(有効回答 109 件:個人 81 件、事業所 28 件)。回答者の約9割が予定していた事業を中止・延期し、感染予防対策やオンライン化に関する情報提供や経費の補助などの支援を求めていることがわかった。調査結果をプレス発表するとともに、コロナ対策に関する「すみだ文化芸術情報サイト」での情報配信や、相談日の開設につなげた。

#### (3) アドバイザーボードを活用した検討

文化政策の専門家や文化施設運営、助成制度等に詳しい有識者をアドバイザーボードに迎え、本年度の財団の事業について進捗状況を報告したうえで、以下の事項について意見を聴取した。

会議日時: 令和3年3月19日(金)16:20～18:00

協議事項: ① コロナ禍における持続的な文化活動のあり方

② 助成事業及びすみゆめの今後の方向性

### 4 アートプロジェクト等の推進事業

すみだ北斎美術館の開館を機に、平成28年に始まったアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会の事務局として事業を推進した。「北斎」「隅田川」をテーマとして、区内及び隅田川流域で行われる多彩な表現活動を募集し、採択企画に対して補助金の交付や技術サポート等を行うとともに、参加団体相互の交流を促している。

当初、東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて8月から始められるよう準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、企画内容や実施方法を大幅に見直すこととなった。オンラインの併用などで主催企画を実施し、そこで得られたノウハウを参加団体と共有し伴走するかたちで、プロジェクト企画の実現に努めた。

前年度に引き続き、企業協賛や助成を得るとともに、メディアでの紹介もあり、コロナ禍でも創意工夫による文化活動を展開している点に注目が集まった。

#### ■運営体制

主 催	「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会、墨田区
特別協賛	YKK株式会社
協 賛	株式会社東京鋳兼
助 成	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

## ■事業概要

- プロジェクト企画支援内容:1企画あたり補助金上限100万円、区の施設の減免による利用可、技術サポート(照明・音響、展示施工など)の相談にも応じる。
- 選考方法:外部の専門家を含む5名の選考委員により、①企画の独自性・先駆性、②企画の実現性、③テーマとの親和性、④主体的参加・ネットワーク形成の意欲、⑤地域への波及効果・社会的意義といった基準から採択企画を決定(応募:28件、実施:14件)
- チラシ、WEB、SNSを活用した広報と、企画に取材する活動レポートを配信(12件)
- メイン期間以外でも趣旨に賛同する「ネットワーク企画」を募集し、広報協力を行う(6件)。
- 参加団体や・ネットワーク団体等が集う「寄合」を月1回程度、区内の文化拠点などで実施

## ■主催企画

### ①「すみゆめの七夕」

北斎が描いた「西瓜図」が七夕の儀式の見立てであることから、「七夕」を音楽や食から紐解き、相撲とのかかわりに及ぶ4つの企画を行った。なお本企画は、文化庁の令和2年度第2次補正予算で設けられた「文化芸術活動の継続支援事業」からの補助金を得た。

#### 其ノ一 オンライン作曲ワークショップ with 野村誠

日時 7月12日(日)・19日(日)14:00～15:00/16:00～17:00

#### 其ノ二 初代高砂浦五郎の地歌〈相撲もの〉をつくる

トーク出演:野村誠(作曲家)、松田哲博(元・一ノ矢、高砂部屋マネージャー)

浪曲地歌「初代高砂浦五郎～高砂浦五郎を賜るの段」 地歌三味線:竹澤悦子

日時 8月9日(日)14:00～15:30/会場 すみだリバーサイドホール(公開収録)

#### 其ノ三 「すみゆめの七夕」演奏会 by 北斎バンド

作曲:野村 誠、出演:尾引浩志(イギリス)、片岡祐介(木琴)、竹澤悦子(箏)、元永 拓(尺八)

日時 9月6日(日)15:00～16:30/会場 すみだリバーサイドホール(公開収録)

#### 其ノ四 EAT&ART TARO「江戸野菜のくすり箱」

トークイベント「江戸の食を探る」

出演:EAT&ART TARO、牛久光次(寺島・玉ノ井まちづくり協議会)、山田順子(時代考証家)

日時 8月9日(日)15:45～17:00/会場 すみだリバーサイドホール

オンラインイベント「TAROさんのおやつ時間」 日時 9月12日(土)15:00～16:00

### ②「Opening the River - ファスナーの船 | 鈴木康広」

まちの境界線である隅田川を航行する船の姿が、ファスナーが川面を開いているように見える作品。ドローン空撮によるコンセプト・ムービーをYouTube公開したところ海外でも視聴され、再生回数が12万8,400回を超える。WEBギャラリーへは「ファスナーの船」の写真募集、水の動画を募る「水のパズル」を展開して参加を呼び掛けた。

日時 10月31日(土)～11月8日(日)12:00～14:00/場所 隅田川(吾妻橋～桜橋)

### ③ KOSUGE1-16「どんどこ! 巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」

段ボール製の巨大力士を制作するワークショップ「巡業」を区内4か所(東向島、キラキラ橋、亀沢、東駒形)で行い、個性豊かな30体の力士が集う「本場所」を開催。オンラインで参加する「電子どんどこ!」の仕組みで「たたき手」を募り、地方からの友情出演もあった。相撲関係者による解説、太鼓や相撲甚句の披露、弓取式の実演なども伝える機会となった。

日時:令和3年2月7日(日)14:00~17:30

会場:すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)マスターホール、YouTube ライブ配信

## ■実施概要

時 期	内 容
令和2年3月1日(日)~4月6日(月)	「プロジェクト企画」の募集、応募(28件)
令和2年4月22日(水)	選考会にて14企画を採択
令和2年5月30日(土)	オリエンテーション及び第1回寄合
令和2年8月9日(日) ~令和3年2月7日(日)	「すみゆめ2020」開催期間
令和3年3月6日(土)	2020年度活動報告会

※ 実行委員会の実施:令和2年4月20日、8月5日、12月21日、令和3年3月19日

※ 「寄合」の実施(9回):令和2年5月30日、6月26日、7月31日、8月27日、9月16日、10月7日、11月11日、12月4日、令和3年1月13日

※ 参加者数:延べ5万3,123名/YouTube等視聴回数:延べ14万3,611回

## 5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

新たに整備された隅田公園そよ風ひろばやミズマチに設けられた墨田区産業プロモーション「SHOP&WORKSHOP すみずみ」で、すみゆめの寄合を行うほかプロジェクト企画の実施を通じて場の活用を試みるなど、地域の各機関と相互に協力し関係性を構築した。また体験型芸術祭「すみだ向島 EXPO」では、すみゆめネットワーク企画として連携し、一部を助成事業に採択することで、運営面での協力や相乗的な広報効果が得られた。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、調査や助成事業とも連動して、オンラインを活用した情報配信や相談対応など、中間支援の役割を担った。

### ① コロナ禍の文化芸術活動に関するヒアリング動画のオンライン配信

全4回、テーマごとにゲストを迎えて実施。「すみだ芸術文化活動サイト」で配信。

- ・「オンラインを活用した文化芸術活動の実施」  
奥山静香(シアターキュブリック)、イトウユウヤ(オンライン舞台監督)
- ・「オーケストラ・室内楽等の活動再開に向けた取組み」  
桑原 浩(日本オーケストラ連盟)、黒崎八重子(両国門天ホール)
- ・「舞台芸術の活動再開に向けた取組み」  
永滝陽子(株式会社ネビュラエンタープライズ)、篠原要(すみだパークスタジオ)
- ・「コロナ禍における新しい表現」  
居間 theater(パフォーマンス・プロジェクト)、野村誠(作曲家)

### ② 文化芸術活動の継続・再開に関するオンライン相談

毎月第3水曜日、Zoomもしくは対面にて1件あたり1時間で対応。